

令和5年度 第1回総会 議事録

日時：令和5年（2023年）5月18日（木） 14：00 ～ 14：50

開催場所：船橋市勤労市民センター 地下2階ホール

出席者：28名

議事要旨：

1. 開会（椎名部会長）

2. 嘉規会長挨拶

令和4年度は、船橋市国際交流協会設立35周年の節目を迎えることができた。設立当初から今日まで、さまざまな形で当協会の活動を支えてくださった会員やボランティアの皆様へ感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルスの影響により、引き続き様々な制限を余儀なくされたが、感染対策をとりつつ、理事会、総会を皮切りに、徐々に対面での活動を再開している。このような中行われた、令和4年度の主な活動については、議事の中で事務局長より説明があるが、私からも簡単に申し上げたいと思う。

大きなイベントとして、10月23日（日）にアンデルセン公園で「インターナショナルフェスティバル」を開催した。

事前の実行委員会から、多くのボランティアにご参加いただいた。当日のステージ、フリーマーケット、模擬店、スタンプラリーなどで活躍していただき、約5千名の来場者を迎えることができた。

また、協会設立35周年記念式典を同時に開催し、36団体、64名の皆様に対し、永年会員表彰を執り行うことができた。

さらに、3年ぶりに国際理解セミナー「ミクロネシア連邦」を開催した。駐日大使による講演では、ミクロネシア連邦は、古くから日本との関わりが深く、日系人も多いことや、船橋市との関係、きれいな海や景色を紹介いただき、皆様が行きたくなるような興味深いお話を聞くことができ、大盛況のうちに幕を閉じた。

また、ロシアによるウクライナ侵攻により、現在船橋市には5世帯8人の避難民の方々がいらっしゃるが、協会も船橋市と協力して、一日も早く生活に馴染んでいただけるよう、専用の日本語教室で日本語学習をお手伝いしている。

5月8日（月）からは新型コロナウイルスの感染症法上の分類が変更され、多くの外国人が入国することに伴い、本市の外国人住民も増加すると見込まれている。

船橋に暮らす外国人住民の皆さんが1日も早く地域社会に溶け込んで生活できるよう、協会として支援していく。

次の10年、20年先を見据え力強く進めていくので、皆様のお力添えをよろしくお願ひしたい。

3. 来賓挨拶（船橋市長 松戸 徹 様）

国際交流協会の総会を迎えられたことに心からお喜びを申し上げます。嘉規会長をはじめ皆様方には姉妹都市交流とともに在留外国人、そしてまた草の根交流のために様々な形で力添えをいただいていることに御礼を申し上げます。

今、嘉規会長から昨年度の取組について話があった。協会として35周年を迎えられ、インターナショナルフェスティバルや、日本語教室など継続的にやられていることは、船橋市の国際交流事業、特に多文化共生を目指すなかでは本当に大きな力になっている。

そういったなかで、昨年ウクライナから8名の方が船橋市に避難をして来られているが、避難した当初から国際交流協会の皆様に様々な形でサポートをしていただき、今も日本語教室などで力をいただいていることは、本当に心強く思っている。

船橋市はアメリカ・ヘイワード市、デンマーク・オーデンセ市、中国・西安市と姉妹・友好都市になっている。

姉妹都市交流が戦後各地で提携をするなかで、船橋市の持っているスキルを交換して、実際に福祉施策や教育施策に活かすことができている。

姉妹都市交流は、第二次世界大戦後アイゼンハワー大統領が、外交だけではなく、市民同士フェイストゥフェイスで友人を作っていくことが大切だということで始まったわけだが、昨年のウクライナのことを見て、改めてしっかりとやっっていけないかと思っている。

現在船橋市には約19,700人の在住外国人がいて、人口が64万5千人を超えているので、約3%が外国籍の方、100人に3人は外国人である。特に通常の仕事で船橋に住んでいる方もいるが、交流をしながら支援をしていく必要がある。そういう意味で、国際交流協会が果たす役割がこれからますます大事になっていくと思う。

先日デンマークから新しくできたアンデルセンミュージアムの館長一行がアンデルセン公園に来られた。毎年きりがみコンクール表彰式に来ていただいていたが、オーデンセから来るのは久しぶりである。当日はデンマーク大使もいらっしゃった。やはり市民レベルの交流をしっかりと続けていくことで、何かあったときお互いが心配し合える環境を作っていくことは、子どもたちのために本当に大切だという話をした。

この後、令和5年度に行われる事業が確定するが、今日ここにおいでいただけていない方を含めて、これからの日本の社会、世界平和のために国際交流協会としてやること

がまだまだたくさんあるというなお話をしていただければ、私としても大変心強く思う。

皆様の日頃の活動に対して改めて感謝を申し上げるとともに、国際交流協会のご発展と皆様のご活躍を心からご祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

4. 議長選出 規約第8条により、小田原副会長が、出席者の承認を得て就任。

5. 審議事項

(1) 議長から第1号・第2号議案の一括審議を出席者に諮ったところ、承認されたので、第1号・第2号議案を一括して説明した。

①第1号議案 令和4年度事業報告について

(資料に基づき片桐事務局長が説明)

②第2号議案 令和4年度決算報告について

(資料に基づき片桐事務局長が説明)

③監査報告

(相川監事より、4月13日に小原監事とともに監査を行い、適切に処理されていたことを確認した旨報告)

【採決結果】

第1号・第2号議案について、事前に会員から受けた質問は無く、挙手による採決を行った結果、賛成多数にて、第1号・第2号議案は承認された。

(2) 議長から第3号・第4号議案の一括審議を出席者に諮ったところ、承認されたので、第3号・第4号議案を一括して説明した。

①第3号議案 令和5年度事業計画(案)について

(資料に基づき片桐事務局長が説明)

【会員からの事前質問】

委員会活動を活性化する方策は検討しているか。関係者のご努力により定型化された活動は継続できているように感じるが、部会によっては新たな活動が不十分に感じる。部会毎に見ても新たな活動や準備の行動が不足に思えるが、どんな活動が準備・検討されているのか、ご教示いただきたい。

【回答】

新型コロナウイルスの影響により、協会活動は様々な制限を余儀なくされたが、今後は徐々に活動を再開し、より多くの事業を展開したいと考えている。活動を活性化する方策として、新たな事業の準備や検討にあたり、主体的に企画・立案しやすい「しおり」を作成することで、自由な発想や創意工夫による事業を実施し広く参加者を募れるようにしたいと考えている。

なお、活発な協会活動には、会員の皆さん一人ひとりが積極的に魅力ある企画を提案していただき、リーダーとなって事業をけん引していただくことが大切で

ある。

今後も協会事業に興味や関心を持っていただき、ともに活動できる仲間になっていただけるよう取り組んでいきましょう。

②第4号議案 令和5年度収支予算（案）について
（資料に基づき片桐事務局長が説明）

【採決結果】

第3号議案について、事前に質問を行った会員から再質問・意見等は無く、挙手による採決を行った結果、賛成多数にて、第3号・第4号議案は承認された。

6. 報告事項

令和5年4月11日（火）に開催された運営会議において、任期満了前に退任される理事及びその後任について、協会規約第7条第2項に基づき、3名の方を選出したことを報告した。

●事務連絡

市国際交流課長から職員紹介

7. 閉会（椎名部会長）